

こんな活動です

子供や学校のために何かしたいという気持ちと学校のニーズをつなぐ活動

香川県高松市

活動名

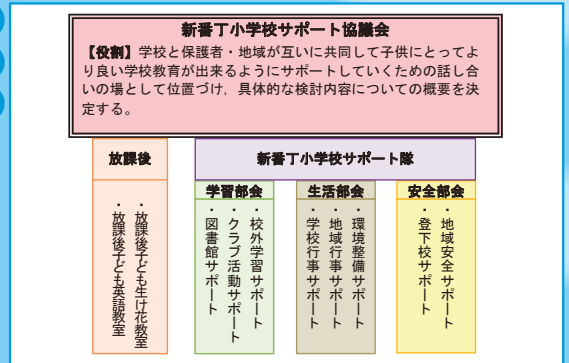
新番丁小学校サポート協議会

関係する学校名

新番丁小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 3人	地域コーディネーター数 24人	ボランティア登録数 102人	学習支援 有	開始年度 21年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	放課後子供教室	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 2人	子供の平均参加人数 18人	年間開催日数 16日	開始年度 27年度	国庫補助 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無	
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携					
		高松市立新番丁小学校 多目的室、英語活動室		有	連携なし					
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携		
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数		

体制図



活動の概要・経緯

本校は、三つの小学校が統合して、平成22年4月に開校した学校である。統合前の「新しい学校づくり協議会」を母体に、平成21年10月に「新番丁小学校サポート協議会」が発足した。一つの小学校校区に三つのコミュニティがあるという状態からくる課題を克服し、地域の中の学校、地域に根ざす学校づくりをめざしていこうとするものであった。発足当初は3地区の住民や子供・保護者のふれあい交流活動を中心にして、旧校意識を転換し、新たな新番丁小学校の校風と歴史を築くことを目的とした。同時に、学校と保護者・地域が互いに手を取り、子供たちにとってより良い学校教育ができるよう学校支援体制を構築していった。それ以降、現在に至るまで活動を拡充・継続している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

本校は高松市の中心部に位置し、学習素材が豊富に存在する反面、自然とのふれあいや体づくりの点に課題がみられる。学校課題を受けてサポート協議会がサポート活動の企画立案・連絡調整等をする。例えば、地域に働きかけ「ホテル観賞の夕べ」や「花火大会」を開催したり、スポーツインストラクターを招聘して親子運動教室を開講したり、専門学校の実習とタイアップして、歯磨き指導や卒業記念DVD制作を行ったりしている。また、総合的な学習の時間「高松学習」では、訪問場所や説明人などについて学校の相談に応じ、地域の歴史・文化・伝統の継承と児童の学習をつないでいる。また、地域の老人会に依頼し、日々の登下校の見守り活動、昔遊び交流活動、昔の道具（七輪）の体験活動を実施している。

【実施に当たっての工夫】

サポート協議会のメンバーは、三つの地区の各種団体の代表、学校評議員、PTA代表、学校関係者で構成され、香川大学生涯学習教育研究センター長と高松市教育委員会担当指導主事がオブザーバーとして参加している。メンバーによる人的ネットワークの活用はもとより、ボランティアサポーターの募集を年度初めに保護者・地域の人に向けて行い人材バンクとして活用している。できる人が、できる時に、できることをするという基本コンセプトにして、サポート内容を自己申告で登録してもらっている。この取組で、広範に渡る人材発掘を可能にしている。サポート協議会の主体事業として、豊かな情操を養う放課後子供教室の英語と生け花を平成27年度から開講している。

● 事業を実施しての効果・成果

子供たちは、学校の先生、友達、家族以外の様々な年齢の地域の人たちと接することで、知識・技能を高めたり幅広い体験を積んだりするだけでなく、豊かな人間関係を築いていこうとする意欲にもつながっている。子供たちの書いている感想やお礼の手紙などから、サポーターの人たちとの活動を通して、思いやりや感謝の気持ちの大切さを感じとっている様子もうかがえる。また、地域・集団の一員としてのボランティアの在り方や自分の生き方について考える機会になっている子供もいる。教員も保護者も地域の一員であるという認識が深まり、「地域とともにある学校」の意義と必要性を感じ、地域と協力して学校づくりに励んでいるところである。

● その他

【学習支援について】

①サポート学習（平成24年度から開始）

3年生希望者を対象に、各学期末の月曜日6校時の時間帯（他の児童は放課後）に3回、年間9回程度実施している。内容は算数の補充学習で、学校自作の復習プリントの学習を指導する。最後には修了証を子供に渡す。地域の教員OB、元保護者、学生ボランティアが担当している。

②外国語活動サポート（平成23年度から開始）

ALTによる外国語活動を全学年実施している。このとき、サポーターも一緒に活動して、児童のコミュニケーションの機会を増やしたり、スムーズな進进行を助けたりして、学級担任を補助している。担当しているのは、サポーター募集で集まった地域の人や保護者である。

③放課後子ども英語教室（平成27年度から実施）

地域の英語指導の経験者や海外生活経験のある保護者が指導者となって、年間13回（平成27年度実績）実施している英語教室である。2年生の希望者を対象に木曜日5校時にあたる時間帯（他の児童は放課後）で行っている。指導計画や指導内容も指導者が相談して決めている。チャンツやゲームなどの活動を中心に、季節の行事（ハロウィンなど）も楽しんでいる。外国語活動サポーターも活動補助で入っている。



地域の元教員・元保護者・学生ボランティアによるサポート学習（3年算数）



統合前小学校跡地で「新番丁花火大会」の開催（地元商店街振興組合協賛）